

記載例

★誓約書の有無については、担当者に確認の上、提出が必要な際は入札説明時に持参して下さい。

宛名は担当者に確認して下さい

関東管区警察局〇〇〇県情報通信部 御中

表面が「誓約書」、裏面が「別紙 秘密保全条項」
となるように作成して下さい

誓約書

件名等を記載して下さい

貴部において進めておられる「_____」の

競争参加にあたり、秘密に属する文書、貸与された資料、仕様書及び警察関係者の会話内容等全ての資料について、別紙「秘密保全条項」を厳守するとともに、秘密が紛失、漏えい、窃取されないように万全を期すこと及び当社従業員の故意又は過失により秘密が漏洩等した場合についての一切の責任を負うことを誓約します。

作成日を記載して下さい

令和〇〇年〇〇月〇〇日

会社名等を記載して下さい

住所 東京都千代田区〇〇1-1-1

会社名 株式会社〇〇〇〇

代表者氏名 関東 太郎

代表者連絡先 048-123-XXXX

事務担当者 関東 一郎

事務担当者連絡先 090-1234-XXXX

この記載があれば、
押印省略可能です。

関東管区警察局

御中

誓約書

貴部において進めておられる「_____」の
競争参加にあたり、秘密に属する文書、貸与された資料、仕様書及び警察関係者の会話内
容等全ての資料について、別紙「秘密保全条項」を厳守するとともに、秘密が紛失、漏え
い、窃取されないように万全を期すこと及び当社従業員の故意又は過失により秘密が漏洩
等した場合についての一切の責任を負うことを誓約します。

令和 年 月 日

住所

会社名

代表者氏名

代表者連絡先

事務担当者

事務担当者連絡先

秘密保全条項

(秘密保全の義務及び範囲)

- 第1条 発注者から提供された仕様書、電子的記録等の資料及び警察関係者の会話内容並びに入札書等提出業者（以下「業者」という。）が作成した提案書、見積書、完成図書、電子的記録等の資料（以下「作成資料」という。）の秘密の保全に関しては、この秘密保全条項を適用する。
- 2 業者は、業者の従業員の故意又は過失により発注者の秘密が漏洩したときであっても、管理者としての責任を免れることはできない。
- 3 業者は、契約期間中はもちろん、仕様書説明会、又は契約終了後でも作成資料を他に漏洩又は他の目的に使用してはならない。

(秘密保全責任者)

- 第2条 業者は、この秘密保全条項を徹底させるため、作成資料の内容を管理する秘密保全責任者を選任し、発注者に報告し許可を得るものとする。なお、変更があった場合も同様とする。

(下請負の禁止)

- 第3条 業者は、作業のすべて又は一部を他の者に下請負させてはならない。ただし、やむを得ず一部を下請負させるときは、その下請負先にも秘密保全責任者を選任し、発注者に報告し許可を得るとともに、この秘密保全条項を遵守させるものとする。

(作業に携わる関係者)

- 第4条 業者は、作業に携わる関係者の名簿を作成のうえ、発注者に報告するものとする。

(情報の取扱)

- 第5条 秘密保全責任者は、作成資料が漏洩、盗難、亡失あるいは自己保有の資料等と混同される恐れのないよう、保管庫にて常時施錠し保管するものとし、パソコン及び電子媒体に保管する場合は、暗号化、若しくはパスワードによる保護を行ったうえ、アクセス制御を実施し、アクセスログを取得する等、適切な守秘対策を講じ管理しなければならない。
- 2 業者は、使用するパソコンについては、インターネットに接続していない端末とし、漏洩防止対策を講じなければならない。
- 3 業者は、作業に必要な限度をこえて作成資料を供覧、又は漏洩してはならない。
- 4 作成資料は、いかなる場合であってもそのすべて又は一部を引用して他の目的に供してはならない。

(資料の複製)

- 第6条 業者は、作成資料の複製、又は写真撮影を必要とする場合は、事前に発注者の許可を受けるものとする。
- 2 業者は、作成資料の製作、又は写真撮影を行ったときは、帳簿により数量、配布先等を管理するとともに、速やかにその旨を発注者へ書面により報告するものとする。

(資料の廃棄方法)

- 第7条 業者は、所有している作成資料を適切に廃棄した後、発注者へ書面により報告するものとする。ただし、発注者から許可を受けた場合は、契約終了後も保管できるものとし、保管期間中はこの秘密保全条項が適用されるものとする。

| 情報形態 | 記録形態 | 廃棄方法 |
|--------|-------------------------------|--------------------------|
| 紙情報 | 印刷情報、手書きの情報 | シュレッダーにより 裁断 |
| 電子媒体情報 | CD-Rやハードディスクなどの記録媒体に保存されている情報 | 削除ツールによる廃棄、或いは再生できないよう破壊 |

(事故発生時の措置)

- 第8条 業者は、秘密情報及び提供物等の漏洩、紛失、盗難又は破壊等の事故が発生し、又はそれらの疑いや恐れがあるときは、適切な措置をとるとともに、直ちに発注者に報告しなければならない。
- 2 発注者は、業者から前項の報告を受けた場合、その詳細を調査することとし、業者はこれに協力しなければならない。

(教育)

- 第9条 業者は、関係者に対してこの秘密保全条項の内容を周知徹底させるために必要な教育を行わなければならない。

(その他)

- 第10条 この秘密保全条項の取扱上で生じた疑義については、業者は発注者の指示を受け、その指示に従うものとする。